

THE SHINGASHI BASIN NEWS

新河岸川流域しんぶん

発行●新河岸川流域づくり連絡会 新所沢事務所
住所●埼玉県所沢市弥生町2996-6 山ロビル1F TEL/FAX 042-994-3212
発行日●2000年(平成12年)10月30日



もう秋だけれど…夏だ！川まつり特集！

- P2 柳瀬川 北山わんぱく夏まつり
- P3 黒目川 落合川 わくわく川あそび
新座 わいわい川あそび 黒目川川まつり
- P4 不老川 大森の池まつり
- P5 白子川 湧水聞き取り調査隊
- P6 砂川堀 ホタルの夕べ

新河岸川流域情報

- P7 流域活動報告 新事務局紹介 清瀬せせらぎ公園オープン
- P8 流域INFORMATION 流域行事予定表



切絵 毛利将範

もう秋だけれど…

夏だ！川まつり特集！

新河岸川流域の各地で、夏祭りや夏休みならではの活動が催されました。7月の落合川(黒目川上流)川まつりを皮切りに、新座(黒目川中流)、柳瀬川上流の北川、不老川ほとりの大森の池、黒目川(下流)で、川まつりが行われました。大森の池では気球も上がり、周囲を目渡すことができました。1本の川から流域へと、思いはさらに広がりました。また、砂川堀上流ではホタルの観察、白子川では湧水調査の聞き取りが行われました。

大人から子供まで、みんなが一緒になって川で遊び、川を歩きました。そこでは、流域の大切な宝物がいくつも見つかりました。今後、新河岸川流域の宝物探しとして、また、その宝物を大切に育むためにも、川まつりや、夏休みのイベントが残っていくことを願っています。こういった活動の存続のためにも、今後ともご協力ください。今年ご参加できなかった方も、ぜひ来年はご参加ください。

大森の池の横で浮かぶ気球の様子：写真1



北川(柳瀬川流域) 北山わんぱく夏まつり 子供も大人も大はしゃぎの夏まつり！

北山かっぱの会等、東村山市の市民団体が中心となり「北山わんぱく夏まつり」が今年も賑やかに行われました。前日の夜に予定されていた野外映画鑑賞会『絵の中のぼくの村(東陽一監督)』は、冒頭の夕立ちのシーンに本当の夕立ちが急に降り出し、中断。どしゃ降りになりそのまま中止となりました。残念！日曜日は昨夜の大雨がウソのように晴れ上がり、川遊び日和となりました。

イベントとしては、大人気のザリガニ釣り、出店、祭り太鼓に縄文っこ(?)と様々な催しが行われました。ライブバンドの演奏が始まると祭りのテンションは最高潮になり、ダンスをして盛り上がりしました。

川を堰き止めて、カヌー遊びも行われ、その横で泳ぎ始めてしまう子供たちもいました(写真5)。

投網を習った子供もいれば、川遊びがエスカレートしてケンカになってしまう子供もいました。みんな冷たい川の水だけでなく、そこにいる魚や生き物、石からも楽しい遊びを見つけました。

北川水族館では、魚類調査として北川でとられた魚13種類が展示されました。投網にはヨシノボリが多くかかりましたが、子供たちの人気No.1はザリガニでした。ザリガニクイズもありました。



写真3: 北川の市民活動を展示紹介



写真4: まつりの風景



写真2: 北川でのカヌー遊びの様子

北山公園に隣接する八国山では、里山の生き物を観察しながらのミニハイクに、大人も子供もはしゃぎ下界を忘れて自然を堪能しました。

楽しい川あそびに、美味しい食べ物と飲み物で大満足の1日でした。

現在、北川では「北山公園親水施設及び北川の整備についての意見交換会:川端会議」が進められています。夏まつりだけでなく、日常的に北川に子供が安心して入り、遊べるようになることも夢ではないでしょう。(川端会議についての問い合わせ先:東村山市都市整備部みどり公園課 TEL042-393-5111)

柳瀬川の上流部である北川は、柳瀬川へ水を送り込む生命線とも言えます。その川で子供が遊ぶ光景や、きれいな水質が戻ることは、柳瀬川の、更には新河岸川の再生へつながるはずです。



写真5: 川で泳ぎ出す子供たちも！



写真6: ザリガニ釣りの様子

- 場所 東村山 北山公園、北川
- 日時 2000年8月5日(土) 6日(日)
- 主催 北山わんぱく夏まつり実行委員会

流域地図で場所を確認



流域の生き物情報

「北山わんぱく夏まつり」の一環で行われた魚類調査の結果です。

■北川の魚たち■

- ・キンブナ ・ギンブナ
- ・キンギョ ・オイカワ
- ・タモロコ ・コイ
- ・ヨシノボリ ・モツゴ
- ・ドジョウ ・ウキゴリ
- ・アブラハヤ ・メダカ
- ・ナマズ



写真7: 柳瀬川の上流、北川の風景。左岸には土手が残っている

黒目川 上・中・下流の川まつり たくさんの魚といっしょに川まつり

多くの魚が住み、清流の黒目川では、上、中、下流の3ヶ所で川まつりが行われました。今年はミズガキ(魚とり)講座も復活し、より元気の川まつりとなりました。

最初に東久留米(落合川)で行われた「第6回わくわく川あそび」は、冷たい川の水に助けられたというほど暑いなか、約500名の参加者と賑やかに行われました。今回から地元商工会も参加し、太鼓の演奏や沢山の笛風船も飛ばされました。ボートやイカダ、カヌーで冷たい川の水に入って遊びました。

落合川と黒目川の合流付近、新座では「第2回わいわい川あそび」が参加者約100名で行われました。手作り竹舟が組まれ、乗り心地も上々でした(写真9)。また、魚類調査ではアユが確認されました。

下流部の朝霞で行われた「第4回黒目川川まつり」では、水質調査とシャボン玉遊び、「ミズガキ講座」が催されました。教えられた通りにやってみても、なかなか魚がとれませんでした。何度もやっているうちに、幼稚園から小学生の子が何匹も、魚を次々と捕り始めました。朝霞では水着の子供が多数いました。



写真9: 手作りの竹のいかだに乗って



写真10: みんなでボートに乗って



写真8: 黒目川での魚とりの光景

どの会場でも、舟遊びやカヌーに乗る子供の列ができ、子供たちの笑顔が輝いていました。

黒目川に住む多くの魚が各会場で展示されました。特に婚姻色のでたオイカワやアユはきれいで子供たちも見入っていました。流域ごとで魚の生息も多少異なり、落合川にはカワムツが多く、新座と朝霞ではアユが確認されました。また、朝霞ではマハゼやボラなど東京湾から潮上した魚が目立ちました。残念なことに原因不明の汚水が川へ流れ込み数百匹もの魚が死ぬ騒ぎもありました。

現在、黒目川では河川整備にむけて「黒目川改修工事策定委員会」が進められており、こういった話し合いや川あそびを通じ、安心して黒目川と暮らし、遊べる環境へ着実に近づいています。



写真11: カヌーはいつも大人気



写真13: シャボン玉遊び

- 場所 (1)東久留米 (2)新座 (3)朝霞
- 日時 (1) 2000年7月23日(日)
- 日時 (2) 2000年7月30日(日)
- 日時 (3) 2000年8月27日(日)
- 主催 (1)川あそび実行委員会
- (2)黒目川流域川づくり懇談会
- (3)川まつり実行委員会

流域地図で場所を確認



流域の生き物情報

■黒目川の魚たち■

- ・アユ ・オイカワ ・カワムツ
- ・アブラハヤ ・ウグイ ・ボラ
- ・モツゴ ・タカハヤ ・マハゼ
- ・ギンブナ ・コイ ・ドジョウ
- ・ウキゴリ ・タモロコ
- ・オオクチバス ・カネヒラ
- ・タイリクバラタナゴ ・メダカ
- ・ホトケドジョウ ・ナマズ



写真12: ボートに乗って黒目川を巡る旅



写真14: 魚はとれたかな？



写真15: 魚の展示に釘付け

不老川 大森の池 川まつり

消防はしご車が登場！気球もあがった！

今年初めて開かれた「大森の池まつり」では、気球があがり、はしご車も用意され、鳥になった気分で大森の池周辺を眺めることができました。大森の池では泳ぐことはできませんでしたが、池に入って魚を探したり、ボートで泳いだりして楽しみました。大森調節池の自然を十分に味わえた1日になりました。



写真16：気球に乗って見た大森調節池

イベントとして「ザリガニ釣り」「水質検査」「生き物さがし」「ミニミニかんざつ隊」が行われました。

大森調節池にザリガニがおらず、残念ながらザリガニは一匹も釣れませんでした(写真12)。しかし、不老川で捕まえられるザリガニや魚が水槽で展示され、ザリガニを見ることも、触ることもできました。ザリガニクイズも行われ、たくさんの子供がチャレンジしました。初めてザリガニに触る子も何人かいました。

また今回の「生き物さがし」により、魚がないと言われていた不老川にほぼ30年ぶりに魚を確認できたことは驚きと感激でいっぱいでした。捕獲した魚やザリガニは、全て持ち帰られました。不老川の貴重な魚たちを自宅で育てながら、不老川をきれいにそして、大切にしたいと思育んでほしいと思います。

「生き物さがし」では、草むらで生き物さがしの競争をしました(写真15, 17)。チーム対抗のリレー方式で草むらから虫を捕まえてきます。バッタやとんぼ、コオロギ、カメムシやテントウムシ、アリなど色々な虫が見つかりました。池の畔の木でカブト虫を見つけた男の子もいました。

十数メートル上がった気球からは大森の池がよく見渡せました(写真14)。遠くまでは見えませんでした。緑に覆われた大森調節池が予想以上に大きいことに驚きました。はしご車は約25mの高さまで上がり、曇っていたため西武ドームは見えませんでした。高く上る迫力と360度のパノラマは印象的でした。

大森の池と不老川周辺を見渡し、鳥の気持ちに近付けました。



写真17：生き物さがし、スタート直前



写真19：気球と草むらの生き物さがし



写真18：池をボートで遊覧しました



写真20：ザリガニ釣り、釣れたかな？

- 場所 大森調節池
- 日時 2000年8月20日(日)
- 主催 不老川流域川づくり市民の会
(駒形玉環生態系保護協会入間支部)

流域地図で場所を確認



流域の生き物情報

「生き物さがし(水辺編)」の結果です。

■不老川の生き物たち■

- ・フナ(4匹)・モツゴ(6匹)
- ・ヒメダカ(1匹)・ザリガニ

■大森調節池の生き物たち■

- ・ドジョウ・ザリガニ・カエル

今回の調査で魚を確認できたことは、黒目川の川づくり懇談会のメンバーである菅谷氏、小林氏と飯島氏の熱心な調査によるものです。深く感謝いたします。今後も魚類調査は行う予定です。



写真21：高くまで上がっているハンゴ車。草むらでは、虫を探す子ども達の姿があります。

白子川 湧水聞き取り調査隊が行く！

豊かな湧水と湧水タンクのある町を歩く

湧水が豊富なことが特徴である白子川。その流域である和光市では、今も湧水のある風景が今でも残っています。白子川流域(和光市)の地図を見ると、崖線が多く見受けられ、その斜面から多くの湧水がしみ出しているようです。最近では斜面林を遮るような開発が目につき、湧水の減少が心配されています。



写真21：湧水が溢れ出ている湧水タンク

今回の「白子川湧水調査・聞き取り隊」では、白子川の宝物である湧水を大切にしたい気持ちを育むことを目的に計画されました。内容は、(1)湧水の流れる白子川の水の調査、(2)町のなかを流れる湧水の観察、(3)湧水地の訪問と所有者の方への聞き取りが行われました。

午前はまず白子川と白子川に流れ込む水の水温など調査を寺前橋から始めました。次に側溝を流れる湧水や至る所から湧き出ている湧水(写真23, 24)を見ながら熊野神社へ向かいました。そこでは、湧水で満たされ、潤れたことのないという池から流れ出る湧水(写真25)がありました。10秒間で50ℓの水が溢れ出ていました。それだけ白子川流域の湧水が豊であることが分かりました。

午後からは実際に湧水タンク(写真21)を管理されているお宅へグループごとに訪ね、聞き取り調査を行いました。あるグループの話では、湧水タンクから勢よく吹き出す湧水の量に驚いたそうです。その水は今も生活用水として使われていますが、問題は湧水タンクから各家庭への配水管が私有地を通ることになります。世代が変わり、これまで通りの配管整備の維持が困難になっているのです。

湧水タンクは自然の水が私達の身近にあることを気付かせてくれます。白子川の宝物は、湧水と湧水を利用した生活文化にあると感じました。流域や地域の財産として、湧水とそれを生活につなぐ湧水タンクの保全が個人だけでなく地域や自治体で進められることを願っています。



写真22：白子川と川の観察の風景



写真23：町の至る所から湧水が溢れている



写真24：路肩に溢れ出ている湧水を観察。水の豊かさに驚かされました

- 場所 白子川流域(和光市)
- 日時 2000年8月22日(火)
- 主催 白子川流域環境協議会
(板橋区・練馬区・和光市)

流域地図で場所を確認



流域の生き物情報

湧水の豊かな白子川流域の湧水地では、絶滅危惧種であるカワモズクをはじめ、藻類やコケ類などの水生植物や、カゲロウ、ヤゴなどのさまざまな水生昆虫が生育・生息しています。

■カワモズクとは？■

絶滅危惧種に指定された水中に生える生物です。約16度の水温で、常に流量があり、半日陰等の条件のもと生息する貴重な生物です。



写真25：湧水の豊かさがよく分かる。熊野神社の湧水の滝。水温は20度

市民の活動レポート

砂川堀 ホタルのタペ

淡い光を求めて、ホタル観察の夏

砂川堀では、今年もホタルの観察会が行われました。砂川堀で見られるホタルは、人工孵化ではなく天然のヘイケボタルです。7月29日の観察では17匹のホタルを確認することができました。砂川堀は都市下水路と呼ばれているように決して恵まれた環境ではありませんが、ホタルは力強く光っていました。

まず、最初に見つけたホタルは、県立所沢西高校の裏でした。そこは三面コンクリート護岸張から、橋を介して雑木林や畑へと川が表情を変える場所でもあります。その木々の生える土手に明るく淡い緑色の光を見つけた。それから川沿いに観察を続けると、10mおき位にホタルを見つけることができました。時には、至近距離でホタルの光を見ることができ、光がゆっくり動いてゆく様子も見ることができました。土手の下の方で光っていると、光が水面に映りきれいでした。

砂川堀は、国道に架かる警署橋を境に上流側は都市下水路から河川へと変わります。国道に出た途端、立ち並ぶ店の明りが眩しいような状況で、その周辺ではホタルは見当たりません。今後の道路沿いの開発が気掛かりです。



写真26: ホタルのいた付近 (地図位置A)

観察の終着点では、1ヶ所5匹のホタルを見つけることができました。そこでは、力強く光る雄のホタルが、淡い光の雌のホタルの処まで飛んで行く場面も見ることができました。そこで新しい世代へ命が引き継がれることを願いました。

観察を終えて、人工でホタルを急激に増やすのではなく、川を保全しながら、僅かずつでも自然に増えていくのを見守ることも大切だと感じました。

現在、砂川堀の通る北野(県立所沢西高校周辺)では約40haの大規模な開発が計画されており、今ある自然な砂川堀も、そこにすむホタルも危険な状況にさらされています。

川は多様な生物の住処であること、を、夏のホタルの静かな光が教えてくれました。その川を地域や流域で守っていくことは重要です。決して人工では作れないものが砂川堀には残っているのです。

- 場所 砂川堀上流部
- 日時 2000年7月29日(土)
- 主催 砂川堀流域川づくり懇談会

流域地図で場所を確認



流域の生き物情報

- 鳥■
 - ・オオタカ ・ツミ ・オナガ
 - ・コサギ ・ハクセキレイ
 - ・ヒバリ ・シジュウカラ
 - ・ムクドリ ・ハシブトガラス
- 哺乳類■
 - ・アズマモグラ
 - ・アカネズミ ・タヌキ
- 水生昆虫■
 - ・ハイイロゲンゴロウ
 - ・ヘイケボタル ・アメンボ
- 植生(花)■
 - ・ウツミズサクラ ・クサノオウ
 - ・オカトラノオ/7月

新しい事務局です、よろしくお願いします！

■ 新所沢事務局について ■

昨年より「新河岸川流域川づくり連絡会新所沢事務局」が開設されています。これまでは、利用が会議などに限られていましたが、今年度は、新所沢事務局の充実を図り、市民交流の場所、新河岸川流域活動の拠点としての空間を実現していく予定です。資料閲覧やビデオ鑑賞もできるような計画をしております。

流域の方にはもちろん、広く皆さんに活用していただけるよう、現在、整備を進めています。ぜひ、ご活用下さい。

- 新所沢事務局の会議などでの利用や、時間外の懇談会等の利用については、新所沢事務局(下記)へお問い合わせ下さい。
- 新所沢事務局の業務内容、新河岸川流域川づくり連絡会の活動に関しては、新所沢事務局、荒川下流工事事務所調査課(P8参照)、㈱東京建設コンサルタント(右記)へお問い合わせ下さい。

■ 新！事務局紹介 ■

この度、㈱東京建設コンサルタントが新所沢事務局を拠点とした新河岸川流域川づくり連絡会の活動支援を行うことになりました。新河岸川流域川づくり連絡会の方々と一緒に川へ入り、川を歩きながら業務に励みます。どうぞよろしくお願いいたします。

㈱東京建設コンサルタント
総合河川部 担当 和田

住所 東京都豊島区池袋2丁目
43番1号 池袋青柳ビル
TEL 03-5951-5843 (直通)
FAX 03-3982-8690

■ 新所沢事務局の利用方法 ■

開館日 月・水・金・土・日
開館時間 月/水/金 15:00~21:00
土/日 10:00~17:00
住所 埼玉県所沢市弥生町
2996-6 山口ビル1F
TEL/FAX 042-994-3212



清瀬せせらぎ公園 がオープンしました！

清瀬市に、「清瀬せせらぎ公園」が9月2日にオープンしました。空堀川と柳瀬川を結ぶように、せせらぎが流れ、両側には植物が植えられ、歩道もあります。清瀬第四小学校の裏には安心してせせらぎへ入れる、親水階段と州浜が設けられており、子供が水に入っている光景も見られました。

植物はまだ植えたらばかりですが、何年か先には自然に近い状態で豊富な草花が見られることでしょう。

清瀬第四小学校の横には木造の学習管理棟も設けられ、トイレや休憩用の椅子もあります(写真31)。

中里緑地保全地域に作られた木道は柳瀬川を見おろせる「みはらし台場」まで続いています(写真32)。

この公園は、柳瀬川流域川づくり懇談会のメンバーでもある神沢志朗さんのアイデア「自然学習園づくり」が実現したものです。ぜひ一度、散策に出かけてみて下さい。



上: 写真31 下: 写真32



写真27: (地図位置B)



写真29: (地図位置D)



写真28: (地図位置C)



写真30: (地図位置E)



● 流域INFORMATION ●

新河岸川流域では、秋から春にかけても、川に関する様々なイベントが催されます。ぜひ一度、ご参加下さい。なお、日程の不明な企画は、新所沢事務所へお問い合わせ下さい。その他の行事についての情報もお待ちしております。

月	日付	曜日	流域名	行事内容	問い合わせ先
10月	3	火	新河岸川流域	第3回新河岸川流域川づくり連絡会(傍聴可)	新所沢事務所 ☎042-994-3212
	14, 15	土日		第8回全国水環境シンポ&交流会in新潟	NP3法人地域交流センター ☎03-3581-7300
	22	日	不老川	こかわ散歩と旬の芋掘り(雨天:29日)	不老川流域川づくり市民の会(恒馬方) ☎042-965-1741
	22	日	柳瀬川/北川	第4回川端会議(北山公園・北川の整備意見交換会)	東村山市都市整備部みどり公園課 ☎042-393-5111
	22	日	黒目川	荒川クリーンエイド 黒目川掃除	黒目川流域川づくり懇談会(藤井方) ☎048-474-2785
	26	木	新河岸川/柳瀬川	水循環マスタープラン柳瀬川流域水循環市民懇談会	荒川下流工事事務所 調査課治水対策係 ☎03-3902-3220
11月	7	火	黒目川	(黒目川上流改修工事)下里団地地区改修計画	黒目川流域川づくり懇談会(藤井方) ☎048-474-2785
	11	土	柳瀬川/北川	北川かっぱの会 かっぱウォーク	北川かっぱの会(三島方) ☎042-391-2365
	19	日	柳瀬川/北川	第8回 森のアトリエ(都立狭山公園)	森のアトリエ実行委員会(宮本方) ☎042-567-3346
	23	木	柳瀬川/北川	第5回川端会議(北山公園・北川の整備意見交換会)	東村山市都市整備部みどり公園課 ☎042-393-5111
12月	2	土	白子川	白子川の湧き水を守るシンポジウム	白子川流域環境協議会(板橋区環境保全課) ☎03-3579-2598
	9	土	柳瀬川/北川	第6回川端会議(北山公園・北川の整備意見交換会)	東村山市都市整備部みどり公園課 ☎042-393-5111
	10	日	新河岸川流域	身近な川の一斉調査報告会(新所沢産業文化センター)	黒目川流域川づくり懇談会(藤井方) ☎048-474-2785
2月			新河岸川流域	新河岸川流域フォーラム(仮称)	新所沢事務所 ☎042-994-3212

行事予定は、変更も考えられます。事前にお問い合わせの上、お出かけ下さい。

行事に関する詳しいお問い合わせは、新所沢事務所、東京建設コンサルタント、荒川下流工事事務所調査課(下記)まで、お問い合わせ下さい。 新所沢事務所 TEL/FAX 042-994-3212

株東京建設コンサルタント 総合河川部(和田)TEL 03-5951-5843 FAX 03-3982-8690

流域行事 MEMO

水循環マスタープラン

柳瀬川流域水循環市民懇談会が始まりました!

現在、建設省荒川下流工事事務所調査課では、水循環マスタープランの策定に向けて、柳瀬川流域水循環市民懇談会がすすめられています。詳しくは「荒川下流工事事務所 調査課 治水対策係」までお問い合わせ下さい。なお、傍聴も可能ですので、一度足を運んでみてはいかがでしょうか?

- 問い合わせ先 荒川下流工事事務所 調査課 治水対策係
〒115-0042 東京都北区志茂5-4-1 TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346

● 事務局から ●

平成12年度の新河岸川総合治水対策広報業務が8月より正式に開始されました。『里川しんぶんNo.9』は新しい事務局が発行する第1号でしたが、いかがでしたか? 新河岸川流域の活動情報を収集し、更に多くの方に情報をお届けできるよう励んでおります。今後も流域各地に取材へ伺いたいと思っておりますので、新所沢事務所、事務局へどんな小さな情報でもお寄せ下さい。お待ちしております。また、ホームページも開設の予定です。より多くの方に新河岸川を知って戴き、新たなネットワークが広がることを目指しています。今後とも宜しくお願致します。